

# 授業科目 人財管理論

【担当教員名】 佐藤 正	対象学年	3	対象学科	情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	
【概要】				
<p>我々の生活は、企業活動と密接に結びついている。われわれが生活において必要としている様々な物資やサービスは、ほとんどが企業から提供されている。多くの人は、それを購入するための資金を企業で働くことによって獲得している。社会の安定と発展のために、企業活動の安定と発展が不可欠である。学問領域としての「経営学」は、このような企業活動全体を対象としている。「人財管理論」（「人事管理論」、「人的資源管理論」とも呼ばれている）は「経営学」の部分領域の一つである。</p> <p>企業活動の円滑な遂行のためには、企業は従業員を活用し、その能力を十分に発揮させ、企業活動を効率的に推進しなければならない。従業員は、自分の能力を高め、企業活動の場でこれを発揮し、より多くの所得の獲得を実現したい。従って経営者は、企業活動の安定と発展のための必要条件の一つとして、企業活動の必要と従業員の欲求を適合させ、従業員の能力を可能最大限活用するよう努めなければならない。</p> <p>「人財管理論」は企業活動における人材の活用の実態を明らかにし、効率的な人材活用の方法を解明する。それは同時に、将来、企業に雇われて働く立場に立つものが、企業の中で、どのように扱われるのか、あらかじめ知っておくことにも役立つであろう。</p>				
【学習目標】				
<p>企業活動における人材の管理について、次のような項目についての基礎的な理解を習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人材の獲得</li> <li>2) 労働条件（労働時間、賃金等）</li> <li>3) 人材の活用</li> <li>4) 労使関係</li> </ol>				
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号
1	人事管理のとらえ方			
2	戦略・組織と人事管理			
3	社員区分制度と社員格付け制度			
4	採用管理			
5	配置と移動の管理			
6	教育訓練			
7	人事評価			
8	昇進管理			
9	報酬管理			
10	福利厚生と退職給付			
11	労働時間と勤務場所			
12	人材活用とライフワークバランス			
13	雇用調整と退職の管理			
14	パート社員や外部人材の活用			
15	労働組合と労使関係			
【使用図書】				
<書名>		<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
マネジメント・テキスト 人事管理入門(第2版)		今野浩一郎ほか	他 日本経済新聞社	2009・3,150円
新しい人事労務管理(第4版) <有斐閣アロマ>		佐藤博樹ほか	他 有斐閣	2011・2,100円
入門人的資源管理(第2版)		奥林康司ほか	中央経済社	2010・2,940円
人的資源管理論		八代充史	中央経済社	2009・2,625円
新現代労働法入門(第4版)		角田邦重ほか(編)	法律文化社	2009・3,465円
その他の資料				
【評価方法】		【履修上の留意点】		
<p>学期の途中でミニテストを課す。これと期末テストの結果を総合して成績評価を行う。</p>		<p>・授業は「マネジメント・テキスト 人事管理入門(第2版)」によって行うが、プリントを作成し、配布する。</p> <p>・その時々時事問題についても解説するので、新聞の経済欄に常時目を通してきて欲しい。</p> <p>・授業時の私語は、厳禁である。</p>		